

もっと広く！
もっと深く！
地域づくりを考える！

令和7年度 募集開始

大正大学
地域構想研究所

地域戦略 人材塾

変化の激しい時代に、
まちづくりを支える自治体職員へ！

昨年度は、地方創生の最新動向をアカデミックな理論と実際の事例から学び、約10ヶ月にわたり全16回の講義を実施しました。

令和7年度は、急速に変化する時代に対応するため、**幅広い視点と柔軟な対応力が求められるゼネラリスト的人材育成**に重点をおき、内容を一部見直してお届けします。自治体職員として実務に活かせる先端的な手法や、多様な課題に対応する実践知を身に付け、まちづくりの現場で即戦力となる力を養うプログラムです。

塾長挨拶



小峰 隆夫

(大正大学 地域構想研究所 客員教授)

現場で生きる最新知識！1年間の実践型プログラム



POINT 1

幅広い知識と学び続ける力

人口問題にはじまり、福祉、教育、経済など多様な分野を横断的に学び、地域資源を活かした課題解決に取り組む力を養います。時代の変化に対応し、常に学び続けるゼネラリストを目指すカリキュラムでサポートします。



POINT 2

柔軟な思考力

地域の特性を活かし、ナッジ理論やフューチャーデザインなどの最新事例を学びながら、日頃、実践的に使わない思考法を用いて、政策デザインの力を磨きます。地域に寄り添った新しい施策をデザインできる力を目指します。



POINT 3

多様な人々との対話と協働

地域住民や他の自治体、企業、NPOと信頼関係を築き、協働で地域課題を解決する力が求められてきています。多様な関係者と連携し、真の地方創生を実現する自治体職員としての基礎を本カリキュラムで習得します。



令和7年度「地域戦略人材塾」

オンライン講座

テーマ単体受講可

対面視察会あり



本講座の内容

ナッジで人々の行動が変わる！事例×データ活用で学ぶ、実践的アプローチ



毎年最も人気の高い講座、ナッジがさらにパワーアップして登場！全国の自治体で注目されるナッジの最新事例を学び、自分たちの地域に即したアプローチを実際に考える、実践型の講座です。今年はデータ活用の視点も強化し、より効果的な政策立案を目指します。地域の未来をデザインする力を、ぜひ一緒に磨きましょう！

人口減少時代のまちづくり視点とは？

人口減少時代の地域とUIターン

地域間の人口奪い合いではなく、縮小社会を見据えた新しいまちのデザインを探ります。



自治体DX

実際の自治体での実装事例を通じて、即戦力となる実践知を身につける回。



フューチャー・デザイン

将来世代を考える「フューチャー・デザイン」を学び、市民協働によるまちづくりへ実践的に活かす視点を養います。



自治体交流会

今年は、各自自治体が自地域をPRし、共通課題や最新の解決策を共有する場を随所に設けます。



令和7年度 スケジュール

分野	開催時期目安		回数	テーマ
1 ガイダンス	5月	水	1	【開校挨拶】本年度の講義について
				受講メンバー交流会
2 地域政策の 先端的手法	6月	水	2	①ナッジ（&データ活用）
		水	3	
	7月	水	4	
	7月	水	5	
	8月	水	6	
	8月	水	7	
	9月	水	8	
	9月	水	9	
	10月	水	10	
	11月	水	11	
	11月	上旬	12	④フューチャー・デザイン
	未定	水	13	オンライン事例報告会（企画中）
3 先端事例地の視察	未定		14	視察会
成果報告 & 交流会	未定		15	地域構想研究所にてのリアルとオンラインの併用交流会

◆研修方法：オンラインによる講義が基本でグループワークを含む。受講方法およびZoomのURLは申込者にメールで別途お知らせします。（個別課題の解決に向けて、本学教員による個別相談も可能）

お申込み
お問合せ

大正大学 地域構想研究所
担当 山本 恭久



chikouken_jinzaijuku@mail.tais.ac.jp